

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1) 図書館法第3条各号に規定する事項に関すること。 (2) 図書館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (3) 市史販売等に係る料金の徴収に関すること。 (4) 読書の普及活動及び読書団体の支援に関すること。 (5) 図書館法第2条に掲げる目的のために必要な事業の運営に関すること。

4. 採点表											
評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析・評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。(図書館においては利用冊数とする) ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%未満～95%:4点	平均値比 104(%)=(R4年度実績 89,842冊)÷(R3年度実績 86,156冊) R3:86,156冊 前指定管理期間の平均:66,652冊(R2:77,452冊、R1:80,621冊、H30:64,454冊、H29:54,934冊、H28:55,799冊) 【参考】開館日数:R3:262日、前指定管理期間の平均日数:290日(R2:258日、R1:301日、H30:299日、H29:296日、H28:296日)	4点		
			②利用人数	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。(図書館においては貸出人数とする) ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%未満～95%:4点	平均値比 103(%)=(R4年度実績 17,184人)÷(R3年度実績 16,608人) R3:16,608人 前指定管理期間の平均:14,679人(R2:14,611人、R1:17,135人、H30:14,624人、H29:13,362人、H28:13,665人)	4点		
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点	年次報告書P377～381 ①読書普及活動 (1)一般常設展示(24回)、常設絵本展示(5回)、一般展示(12回)、一般・児童展示(1回)、児童展示(2回)、絵本展示(8回) 合計52回 (2)市よりインターンシップ受入、(3)本館所蔵の大活字本と入替 ②読書団体等支援 (1)ボランティア連携事業／笠原地域子育て支援センターおはなしの会(12回106人)／笠原分館おはなしの会(11回63人)、おはなしの会夏休みスペシャル(12人)、おはなしの会クリスマススペシャル(15人)	仕様書以上 14点	①展示事業では、館内全体を使ってテーマごとに展示を企画。随所に展示スペースを設置して年間52回実施。ニーズに応えながら常に展示の入れ替えを行い、来館するたびに目新しさと変化に富んだ展示となるよう努めている。書棚に並んでいるだけでは手に取られない本も、展示をすることで読まれる機会を生みだしている。 ②笠原地域子育て支援センターでのおはなしの会は、読み聞かせボランティアとの連携を図り、親子での交流の場としても活用されている。その後の館の利用にもつながっており、有意義な事業。 ③休止していた笠原分館おはなしの会の再開。さらに年に2回行っていたおはなしの会スペシャルも3年ぶりに再開し、「ウィズ・コロナ」への事業展開を図っている。事業実施後の来館にもつながっている。	14点		
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書 P382～387 ①読書普及活動 一般展示(22回)、絵本展示(14回)計36回 (1)笠原保育園(年長組)／わくわく図書館体験(9回173人) (2)笠原小2年／町探検・図書館見学(51人) (3)笠原小学校 司書教諭との図書館交流／除籍本お届け ②出張講座 (1)笠原中央公民館／かさはら探検隊・絵本読み聞かせ(20人)、悠々塾・紙芝居上演(13人) (2)夏休み子ども図書館キャンプ「ガチャポンを作ろう!」(8人) ③その他 (1)本のリサイクル会(101人)、(2)雑誌リサイクル会(62人)、(3)季節のお楽しみプレゼント(ハロウィン 55人、クリスマス 200人)、(4)障がい者施設への絵本配達サービス(12回180人)	期待以上 13点	①公民館の講座で図書館職員が読み聞かせや利用方法の紹介を行うなど、事業の連携から図書館利用の促進に努めている。 ②校区の保育園・小学校との交流から、園児児童の読書推進、施設の利用推進に取り組まれている。 ③障がい者施設への絵本の配達サービスは、昨年に続きコロナ禍での新しいサービスであるが、将来的に再び来館が実現するよう、今後の取組みに期待。 ④館内での業務に留まらず、出張講座が積極的に行われた。分館を知っていただく良い機会としている。 ⑤職員が講師となり、「リサイクル」をテーマに設定して館内の本を使い工作講座を開催。子どもたちが楽しみながら環境問題を学ぶ機会を提供。講座に合わせて工作の本を展示し、課題解決への利用を促進。 ⑥新旧の入替等で除籍した資料を、本のリサイクル会や雑誌リサイクルフェアで利用者に還元。同時に環境への配慮に繋げている。	13点		
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)		①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P364(笠原中央公民館と共通) ①笠原分館として定期的、日常的な清掃を実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点		
			②保守・点検			年次報告書P365(笠原中央公民館と共通) ①笠原分館として設備に不具合があれば速やかに笠原中央公民館と共有し対応。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
			③保安・警備			年次報告書P366(笠原中央公民館と共通) ①笠原分館として来館者に常に気を配り、不審者への注意を払うよう心掛けている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
			④小規模修繕			年次報告書P366(笠原中央公民館が一括で対応) ①有償修繕は笠原中央公民館として、12件 総額382,687円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書P388 ①消毒巡回(開館前、日中の2回) ②本を整理する際に本棚、机、椅子の不具合を点検 ③市公共施設点検マニュアルによる日々の点検に加え、毎月第4金曜日はチェックシートによる点検を実施 ④館内に死角がないよう防犯ミラーを設置	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P388 ①市ファイリングシステムに準じて、文書をキャビネットで保管。 ②年度末の文書の入替は全職員で行い、職員の意識向上と情報共有を図った。 ③各種申請書など個人情報記載の文書は確認後シュレッダーにて処理。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②環境への配慮			年次報告書P388 ①不要となった資料はリサイクル本として再活用するなど利用者に還元。 ②劣化・破損などで再利用に耐えない資料は、古紙回収にて再利用につとめた。 ③館内に空気清浄機を設置したり、扇風機やサーキュレーターを置いて換気に努め快適な館内環境を整備。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			年次報告書P388 ①開館中の入口扉は常時開放し、車椅子やベビーカーの出入りに配慮。 ②文字が見えづらい方に大活字本を案内し、返却期日票を渡している。 ③聴覚障がい者に筆談を案内。筆談対応できるよう文字盤を用意。 ④障がい者施設に定期的な団体貸出を実施。障がい者への読書推進活動を実践。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			年次報告書P388 ①日常点検の徹底で、不具合の早期発見と利用者の安心安全を心がけている。 ②コロナ禍で整備した図書滅菌機の使用を促し、有効活用を図っている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			年次報告書P388 ①個人情報が記載された書類は、使用後速やかにシュレッダーによる処理。 ②ブログなどに写真を掲載する場合は、掲載可能かどうか本人に確認。 ③個人情報が記載された書類を扱う際は、作業机に衝立を立てるなどの対策。 ④利用者との会話で、個人情報が洩れることがないようにカウンターで細心の配慮。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故なし。	事故なし・対応に不備なし 0点	事故なし。	0点
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入130,453,468円÷支出127,178,126円＝103%(笠原中央公民館、笠原体育館含む) ※※上記収入のほか、多治見市より「新型コロナウイルス感染症対策指定管理者緊急支援金」として1,072,109円を別途交付。	105%未満～100% 4点	【参考】 ①施設単独の指定管理料13,704千円 ②施設単独の主な収支 (1)収入／雑収入4千円円 (2)支出／運営管理費3,515千円円、文化振興事業費22千円	4点
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	年次報告書P390 ①コロナ禍で外出ができなくなった障がい者施設に団体貸出カードで貸出、配達するサービスを継続して実施。利用者のリクエストや職員推薦の本を毎月配達。 ②毎週購入する新刊は、利用の多い週末に出せるよう作業。新刊リストを作成し、見やすく棚に展示をすることと合わせて行うなどを工夫。また貸出されていても予約ができることを伝えることで利用につなげた。 ③笠原体育館の休憩スペースに雑誌コーナーを設置。利用者の待ち時間、休憩時間に関覧できるようにした。貸出も可能であることも案内し、分館利用につなげる取り組みをした。 ④図書館に所蔵のない本は、他館で借りられるよう「相互貸借」を案内。	期待以上 9点	①昨年度から実施している配達サービスだが、希望する本を届けるだけではなく、おすすめの本も紹介し、来館できなくとも本の貸出しを継続することで、利用者ニーズに応えるだけではなく、アフターコロナに向けた将来の利用継続に努めている。 ②利用者に手に取ってもらえるよう、展示だけではない様々な工夫を行い、利用率の向上につなげている。 ③公民館、体育館と隣接することを生かし、他施設利用者へもアプローチを行うことで新たな利用者を開拓している。	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	苦情なし・期待以上 5点	苦情なし。	5点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P391 ①図書館前のロビーに館内展示中のPOPを貼り出し、読書意欲をかき立てる工夫をした。 ②親子連れの利用者が館内で心置きなく本と親しむ時間を楽しめるよう、「静かに」といった案内は最低限とした。地域のコミュニティの中心である公民館内の図書館として、本を通じたコミュニケーションを促進し、家族の読み聞かせを見守ることで、小さな子ども連れの利用が増加。 ③保育園児の図書館体験で、館内の装飾を園児と一緒に楽しく行うことで次回来館への動機につなげた。 ④職員手づくりのクリスマスプレゼント企画を実施。本を借りてシールを集める楽しさと、集まったシールでプレゼントがもらえる試みで来館・貸出を増やし、読書推進を図った。	期待以上 13点	①公民館、体育館との一体的な施設であるメリットを生かした事業で、相互利用の促進を図っている。 ②小さな子ども連れの家族が心置きなく館内で過ごせるよう館内の環境を整え、利用者と職員とのコミュニケーションを大切にすることで、年々来館・利用を増やし、騒音に対するクレーム防止に努めている。 ③保育や教育の現場での図書資料の活用や、学校図書館の課題解決の一端を担う取り組みがされている。 ④館内に留まらず積極的に地域に出向き、高齢者、障がい者、乳幼児親子が本に触れる機会を提供している。 ⑤図書資料の貸し借りだけではなく、館内で豊かな時間を過ごせるような多彩な試みを行っている。	13点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし。	遅れ・不備なし 減点なし	不備なし	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	指示等なし	0点	
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計86点
						全体的な評価 ①昨年度に引き続き、今年度も年間貸出冊数が過去最高を更新しており、利用者が手に取りやすい棚づくりや、貸出履歴や利用者との対話の中から利用者により添うことで、ニーズにあわせた本棚を育てることができている結果であるとうかがえる。 ②旧笠原町の図書館としての規模を持ち、地域に根差した施設として親しまれている。地域からの信頼や公民館や体育館との連携を強みとした事業の益々の充実に期待する。			極めて良好